

2024年9月吉日  
DCMホールディングス株式会社

## 日本総研の社会体験カリキュラム「しくみ～な」 渋谷区立笹塚小学校にて、2校目の職業体験を実施 ～ ホームセンターDCMをはじめ、銀行や不動産など計10ブースを設置～

DCMホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼COO：石黒靖規）のグループ会社であるDCM株式会社（代表取締役社長：石黒靖規 以下DCM）は、渋谷区教育委員会が2024年よりスタートしている「シブヤ未来科」の授業の一環として、渋谷区内の小学校で試験導入される株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教、以下日本総研）の社会体験カリキュラム「しくみ～な」に参画しております。「しくみ～な」は、ロールプレイなどを通じて世の中の仕事が関連し合いながらそれぞれ役割を果たしていることを学び、社会全体の仕組みを理解する、日本総研が開発した社会体験カリキュラムです。2024年6月に、渋谷区立加計塚小学校にて職業体験授業を実施し、渋谷区笹塚小学校は2校目の実施となりました。

2024年9月24日・26日・27日の3日間、渋谷区立笹塚小学校の5年生約100名が、ホームセンターDCMをはじめ、銀行や不動産、区役所など10ブースにわたり、職業体験を実施。DCMでは、店長・調達・設計・マーケティング・販売員の仕事に従事し、各職種の立場で、“防災対策コーナーの設置”や“検診センターから受注したリフォーム”等のタスクを解決する為に、自身で考え行動いただきました。また銀行では、融資をどう行うか、不動産では、土地をどこに購入しなにを建てるか等、各ブースにて取り組みを実施いたしました。



9月24日：笹塚小学校 職業体験の様子

体験授業では、子どもたちがそれぞれ異なる仕事に就き、他の子どもたちとやり取りをしながら業務を行うロールプレイを通じ、社会・経済・仕事の仕組みを主体的に学びます。あらゆる仕事が、そして一人ひとりの役割が社会において重要であることを体感できるよう、ロールプレイは自分が欠けたら他の仕事も回らない仕組みとなっています。

## ■1人1人責任を持ち、各職種のタスクに取り組む

DCMの職業体験では、店長・調達・設計・マーチャンダイザー・販売員 5つの役割に分かれて、①魅力的な売場をつくり、店を繁盛させる、②検診センターの待合室をリフォームする、③住民投票をふまえて町を変える等、主に3つのタスクを自身で考え実施いただきました。各職種の立場の役割を果たし、最後は店舗の売上を集計し売れ筋商品を導きだしました。



調達担当が、予算に合わせて、仕入れる商品を検討。防災コーナーにどの商品を仕入れると売れそうかを昨年度の売上を見て確認。



マーチャンダイザーが、商品の魅力を伝えるPOPを作成し、防災コーナーに設置。非常食の売上が好調。



設計担当が、検診センターから、リフォームの仕事を受注し、施工する。また住民投票をふまえ、区より依頼された公園の施工も実施し、売上に貢献。

### ■自律した学習者を育む「シブヤ未来科」について

渋谷区では、グローバル社会で活躍する自律した学習者を育むために、総合学習の在り方を独自に強化した「シブヤ未来科」を2024年度からスタートしています。これは、文部科学省の「授業時数特例校制度」を活用した取り組みで、区立小・中学全26校では、月曜日から金曜日までの午後の授業時間は全て「探究学習」に充てられます。この大胆な教育課程によって、例えば小学校6年生の総合学習の時間は、これまでの年間70時間から155時間に倍増します。シブヤ未来科では、他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったり、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする探究的な学びに特に注力します。また、学校内にとどまらず、地域や企業、専門家の協力を得ながら、渋谷の街全体を学びのフィールドとして子ども主体の学びを実現していきます。子どもたちは、そうした豊かなホンモノ体験を通して、自ら問いを立てたり、仲間と協働して新たな価値を創造したり、主体的な探究活動を充実させることで、これから予測困難な社会で生き、働くいく本物の学力を身に付けていくとしています。

月曜日～金曜日	
午前 1～4校時	教科を中心とした授業（国語、社会、算数、理科、英語など）
午後 5～6校時	<b>探究 主として「シブヤ未来科」の時間</b> (総合的な学習の時間、道徳、特別活動など)

### ■試験導入される「しくみ～な」の概要

日本総研の社会体験カリキュラム「しくみ～な」は、シブヤ未来科のコンテンツの一つとして、今年度、渋谷区内の小学校2校で試験導入されます。子どもたちは、学内授業と体験施設での社会体験活動を通して、世の中の仕事が関連し合いながらそれぞれ役割を果たしていることを学び、社会全体の仕組みを理解します。体験施設では、子どもたちがそれぞれ異なる仕事に就き、他の子どもたちとやり取りをしながら業務を行うロールプレイを通じ、社会・経済・仕事の仕組みを主体的に学んでいきます。あらゆる仕事が、そして一人ひとりの役割が社会において重要なことを体感できるよう、ロールプレイは自分が欠けたら他の仕事も回らない仕組みとなっています。また、投票の権利や納税の義務も学びます。しくみ～なの体験施設には、地域に存在する企業や公的機関などが展開します。体験施設での仕事は、そうした地域の団体の仕事をベースとしており、子どもたちは、実際の仕事に近いやり取りを、ロールプレイという安心して挑戦できる環境の中で体験できます。大人は、子どもたちに失敗をさせないように助けるのではなく、子どもたちを信じてただ見守ります。子どもたち一人ひとりの未来を生きる力の習得という目標、子どもたちが協働する体験を通して主体的・対話的に学ぶカリキュラム、相互関係のある多業種の企業を一つの仮想街に集めた本物に近い学びのフィールドが評価されて、しくみ～なはシブヤ未来科に試験導入されています。

日本総研ニュースリリース (<https://www.jri.co.jp/company/release/2024/0418/>) より

### ■DCM DIY placeとは

「DIYによる暮らし快適化」のお手伝いをする店舗です。日々の暮らしを快適にするツールとアイデアを取り揃え、「やってみたら自分でできた！」を応援する、ホスピタリティにあふれた体験型店舗です。

店舗名：DCM DIY place

住 所：東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンター1F

営業時間：10:00～20:00

定休日：元日、法定点検等別途指定する日

HP: <https://www.dcm-hc.co.jp/dcm-diy-place/>

Instagram:@dcmdiylplace\_official

## DCMホールディングス株式会社とは

全国でホームセンター事業、EC事業等を展開しております。売上高4,813億円、全国に約840店舗・約2.6万人の従業員を擁しています（2024年2月末現在）。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle くらしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカタチを実現します。

※2024年9月、DCM株式会社は株式会社ケーヨーを合併しました。

### ＜本件に関する問合せ先＞

DCM DIY place広報事務局（株式会社K&L内）担当：宮城・岩原・伊藤  
TEL：070-2170-0159（宮城携帯）、03-5211-8131 E-mail: dcm-pr@klt.co.jp



Do Create Mystyle くらしの夢をカタチに